国立大学法人三重大学の中期計画 新旧対照表

現 行		変 更 案	変更理由		
<p>2 教育</p> <p>(3)-1 社会や地域の本学へのニーズを踏まえ、本学の特色や強みを有効に発揮するための組織編制、適正規模を検討し、教育研究組織の見直し、再編等を推進する。特に教育学部の規模については、三重県の教員養成の拠点として適切な規模やカリキュラム等を構築するとともに、第5期以降に向けた教育学部のグランドデザインを取り纏める。</p>		<p>2 教育</p> <p>(3)-1 社会や地域の本学へのニーズを踏まえ、本学の特色や強みを有効に発揮するための組織編制、適正規模を検討し、教育研究組織の見直し、再編等を推進する。特に教育学部の規模については、三重県の教員養成の拠点として適切な規模やカリキュラム等を構築するとともに、第5期以降に向けた教育学部のグランドデザインを取り纏める。<u>また、地域の経済発展や社会問題の解決に資する高度情報人材を育成するため、大学・高専機能強化支援事業の仕組みを活用し、工学部総合工学科の入学定員の増員を行う。</u></p>	<p>「大学・高専機能強化支援事業」への選定に伴い、工学部総合工学科において入学定員の増員を行うため。また、第5期中期目標期間終了時までには同規模の定員を減ずる方針を明確にするため。</p>		
<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>① 社会・地域のニーズを踏まえた学部・研究科の改組を実施するとともに、地域イノベーション学研究科において共創の場となる連携大学院を設置する。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> <p>② 教育学部において各教科の教員免許状取得を維持するため、第3期最終年度における各講座が開講する授業科目426のうち25%を削減しスリム化、効率化を図る。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> </td> </tr> </table>	評価指標	<p>① 社会・地域のニーズを踏まえた学部・研究科の改組を実施するとともに、地域イノベーション学研究科において共創の場となる連携大学院を設置する。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> <p>② 教育学部において各教科の教員免許状取得を維持するため、第3期最終年度における各講座が開講する授業科目426のうち25%を削減しスリム化、効率化を図る。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p>		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>① 社会・地域のニーズを踏まえた学部・研究科の改組を実施するとともに、地域イノベーション学研究科において共創の場となる連携大学院を設置する。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> <p>② 教育学部において各教科の教員免許状取得を維持するため、第3期最終年度における各講座が開講する授業科目426のうち25%を削減しスリム化、効率化を図る。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> <p>③ <u>工学部総合工学科において、令和7年度に35名(1年次30名、3年次5名)の入学定員の増員を行うとともに、第5期中期目標期間終了時までには同規模の定員を減ずるため、第4期中期目標期間終了時までには定員を減ずる学部・学科を決定する。</u></p> </td> </tr> </table>	評価指標
評価指標	<p>① 社会・地域のニーズを踏まえた学部・研究科の改組を実施するとともに、地域イノベーション学研究科において共創の場となる連携大学院を設置する。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> <p>② 教育学部において各教科の教員免許状取得を維持するため、第3期最終年度における各講座が開講する授業科目426のうち25%を削減しスリム化、効率化を図る。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p>				
評価指標	<p>① 社会・地域のニーズを踏まえた学部・研究科の改組を実施するとともに、地域イノベーション学研究科において共創の場となる連携大学院を設置する。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> <p>② 教育学部において各教科の教員免許状取得を維持するため、第3期最終年度における各講座が開講する授業科目426のうち25%を削減しスリム化、効率化を図る。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)</p> <p>③ <u>工学部総合工学科において、令和7年度に35名(1年次30名、3年次5名)の入学定員の増員を行うとともに、第5期中期目標期間終了時までには同規模の定員を減ずるため、第4期中期目標期間終了時までには定員を減ずる学部・学科を決定する。</u></p>				

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	医学部	<u>1,030</u> 人
	工学部	<u>1,660</u> 人
	(収容定員の総数)	
		<u>5,590</u> 人

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	医学部	<u>1,050</u> 人
	工学部	<u>1,760</u> 人 (R7入学定員増員)
	(収容定員の総数)	
		<u>5,710</u> 人

令和7年度までの期間を付した地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の暫定増に伴い収容定員を変更するため。
また、「大学・高専機能強化支援事業」への選定による工学部の入学定員増員に伴い収容定員を変更するため。